

津波予警報システム — 津波 —

■ 津波について

- ・津波の原因として最も一般的なものは、震源地が海底でおこる大地震によるものです。地震によって海底面が広範囲で上下に変化することにより、その上にある海水と一緒に動いて大規模な津波となります。
- ・発生した津波は海を伝播しながら沿岸部へと到達し、沿岸構造物や河川堤防を越えて市街地へと流れ込み、甚大な人的・物的・経済被害を引き起こします。

予測技術を活用し、監視機能も備えた防災システム

津波予警報システム

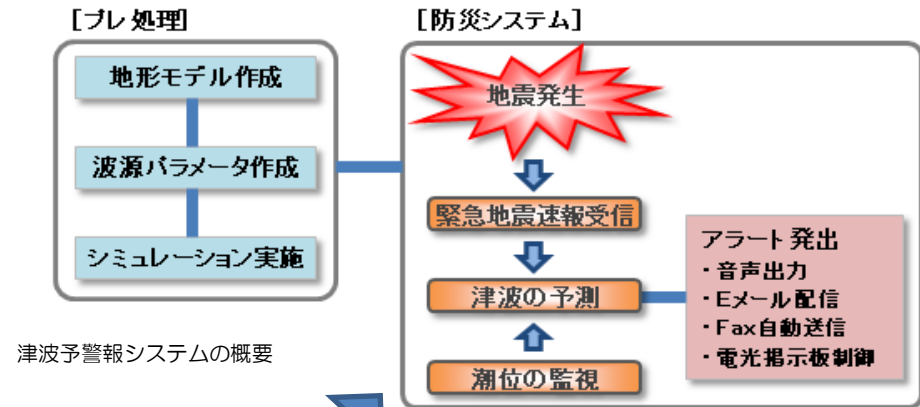
- あらかじめ断層位置と地震規模について想定される様々なパターンを対象として、津波シミュレーションを実施する
- 地震発生時に発表される緊急地震速報を自動受信し、震源位置、震源深さ、マグニチュードなどの地震情報をもとに、各地の津波による最大水位、津波到達時間を予測する
- 観測潮位と予測水位の比較や、地震情報、観測潮位が更新される毎に、予測値の修正処理を行う

特徴

- 詳細な地形モデルによる津波シミュレーションを行うことにより、様々な地点における精度の高い予測水位が得られる
- 津波発生時の、アラート発出機能が実装済み
- 各自治体などで、モニタリング観測を行っている港や河川などの水位データ取得などとの連携も対応が可能

開発言語

- VB.NET/C#/C



津波予警報システムの概要



津波予警報システム画面

機能

- リアルタイム自動監視システム
- Webより気象データの自動取得
- 各種警報装置への自動出力
- 自動メール/FAX送受信